

井田地区



井田川

井田川沿いの道路付近のホタルスポットでは、ゲンジボタルが飛んでいる姿を目にすることができます。5月中旬ごろから6月中旬ごろまでが見ごろです。



神内地区



神内神社

神内神社の境内には、ヒメボタルが生息しており、6月ごろ神秘的な光景を楽しむことができます。また、神内小学校付近では、5月中旬ごろからゲンジボタルを見ることができます。



平尾井地区



町道井内阪松原線付近

平尾井地区のホタルスポットには、ゲンジボタルとヘイケボタルの両方が飛び交っています。周りに住宅などが少なく、ホタルの光だけが暗闇の中に浮かびあがります。



井内地区



相野川

井内地区のホタルスポットである相野川では、ゲンジボタルが5月中旬ごろから6月初旬に飛んでいます。ホタルのやさしい光はとても幻想的で、見る人を癒します。



ヒメボタル

前胸部の中央の黒い模様は、後方に行くほど狭くなっています。メスは体が太く短く飛ぶことができません。主に山地に生息しています。



ヘイケボタル

ゲンジボタルより体が小さく、前胸部の中央の黒い縦模様が太いことなどで区別できます。主に田んぼを中心に、みぞや浅い小川にも生息しています。



ゲンジボタル

成虫の体長は15mm前後で、前胸部の中央には黒い十字形の模様があります。清流の流れのゆるいところでのみ生息しています。



紀宝町に生息するホタル

町内のホタルスポットと鑑賞にあたってのマナー

日本には、約50種類のホタルが生息していると言われ、中でも代表的なのが、ゲンジボタルとヘイケボタルです。町内にはこの2種類のほか、山の中で黄色の光を照らすヒメボタルが生息していることが確認されています。

町内では主に上記の場所でホタルを見ることができ、多く発生する条件は、①比較的曇り気味な雨の降らない夜間、②30度前後の蒸し暑い気温、③風が吹いていない、の3つがあります。また、ホタルが現れやすい時間帯は、午後8時から9時、午後11時から12時といわれています。

ホタルは求愛行動と仲間を見分けたるために発光をしていると言われており、ライトなどにも反応してしまい、ストレスの原因となるなど繊細な生き物です。

美しく澄んだ自然を好むホタルを脅かさないためにも、また近隣に住む方々への迷惑にならないためにも、ホタルを鑑賞するときには以下の点に気を付けるようにしましょう。

ホタルを鑑賞するときのマナー

6

すきみ処を荒らさない！

ホタルの棲み処にごみを捨てたり、草むらを分け入って荒らさないようにしましょう

5

持ち帰らない！

手に取って、観察した後は、すぐに放して、持ち帰らないようにしましょう

4

大きな音はたてない！

ホタルが逃げるので、大きな声や物音は出さないようにしましょう

3

フラッシュ禁止！

ホタルの写真撮影をするときは、フラッシュをたかずに撮影しましょう

2

服装に注意！

虫刺されなどの危険もあるので、長袖、長ズボンを身に着けて、極力露出を控えましょう

1

ライトは控える！

ホタルは強い光を嫌がるのでライトの点灯は極力しないようにしましょう